ボーリング柱状図

調　　査　　名　大野海岸早時地区海岸　海岸保全事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	2	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.19	調査位置	広島県廿日市市大野早時	北　緯	34° 18′ 04.0416″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	平成29年12月27日～平成30年 1月 9日	東　経	132° 17′ 27.5144″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	CDL −0.10m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D1-C	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	4.00m								エンジン	ヤンマーNFD13	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
	-0.60	0.50	0.50		シルト混り砂	暗灰			有機質なシルト分を含んだ中～粗粒砂。貝殻片(牡蠣)や小礫が混じる。															
	-1.00	0.40	0.90		玉石	淡灰																		
1	-1.30	0.30	1.20		砂	暗灰	非常に密な		長さ40cmの硬い玉石。基質は花崗岩。細～中粒砂。			1.15 1.20	50/5			50/5	50以上			1.15 1.20	P-1	⊖	物理	12/27
	-2.10	0.80	2.00		玉石混り砂礫	淡灰			長さ10～30cmの硬い玉石で構成される。玉石間はシルト分を含んだ中粒砂やφ30mm程度の角礫。			2.15 2.34	24	26/9		50/19	50以上			2.15 2.34	P-2	⊖		
2																								
3					強風化花崗岩	淡黄褐			軟岩1。深度3.50m付近まで中～粗粒のまさ状。以深，φ5～10mmの角礫状又は岩片状。岩片はハンマーの軽打で礫状に崩れ易い。全体に角閃石の細粒化が進むものの，カリ長石や石英はφ2～5mmの礫状で残る。			3.10 3.27	22	28/7		50/17	50以上			3.10 3.27	P-3	⊖		
	-4.10	2.00	4.00									4.00 4.03	50/3			50/3	50以上			4.00 4.03	P-4	⊖		1/9
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								